

## 6月 教育実習生の様子

今年は、6人の教育実習生を受け入れました。全員67回生、体育1人、国語1人、理科3人（物理、化学、生物）、英語1人で、体育は6月4日（月）～6月22日（金）までの3週間、あとの教科は6月11日（月）～6月22日（金）までの2週間実習を行いました。

### ○ 研究授業の様子



体育(バレーボール)



英語(行ってみたい世界遺産を英語で相互に説明)



物理(作用・反作用の実演)



国語(古典・徒然草)

### ○ 第1学年 学年集会

6月21日（木）のLHRの時間を活用して、1年生のHRに行っている実習生4人が、高校時代のことや大学生活について話をしてくれました。



## ○ 実習生から

6月21日（水）のアセンブリで、楠佳歩さん（英語）が実習生を代表して後輩たちに伝えてくれた内容です。

みなさん、おはようございます。今年度の神戸高校教育実習生である、楠佳歩です。まず、このような実習の場所と時間を与えてくださり非常に感謝しております。私たちはこの2週間ないし3週間で非常に多くのことを学びました。未熟ながら多くのことに挑戦させていただき、学んだことは計り知れません。これらの、この実習で学んだことを胸に、大学に戻った後も一層精進していきます。

さて、私たち実習生6人は全員神戸高校の卒業生です。全員67回生でした。在校当時は文系2人、理系2人、総合理学科2人とばらばらで、あまり関わる機会のなかった仲間ともこのようにして再び集えたことにうれしさを感じています。

高校生の時はそれぞれが様々な部活動に所属し、そして卒業後様々な進路を選択しました。そんな少しだけ人生の先輩である私たちから現在の神戸高校生に伝えたいことがあります。それは「好きを増やしてほしい」ということです。

私たちは現在全員大学生ですが、大学では「好き」を極めることができます。入学当時に選択した学部で、自分の興味のあることについてとことん突き詰めて研究することができます。しかし、それはつまり様々な分野に挑戦することができるのは高校が最後だと考えてよいということです。

例えば、今みなさんには時間割があり、文系科目も理系科目も、得意不得意好き嫌いにも関わらず勉強することができる機会があります。しかし大学はそうではありません。私は文系で英文学科に所属し、英語教育学を専門に学習しています。するとそれ以外の教科は自分で選択しなければ学ぶ機会はありません。選ばなければ一切学ぶ機会がないということです。

このように自分で選択できる大学生活がみなさんの進む未来で待っているからこそ、今「好き」を増やしてほしいと思います。得意を増やすだけでなく、不得意でもいいので「好き」も増やしましょう。勉強はもちろんですが、それ以外のこと、例えば部活動や趣味などのことにもたくさん挑戦してみてください。するときっと「楽しい！おもしろい！」と思えるものがたくさん出てくるでしょう。その気持ちが「好き」を増やしていきます。「好き」が増えれば増えるほど。みなさんの未来はより輝かしいものとなるでしょう。

最後に私の座右の銘を紹介したいと思います。“You Only Live Once.” 『人生は一度きり』。これはカナダ人の人気ラッパーによる楽曲で“YOLO”と略され有名になった言葉です。人生は一度きりなので、思い切ってたくさんすることに挑戦してみてください。そしてみなさんの人生を「好き」でいっぱいにしてください。

その結果、みなさんの未来が輝かしい元ものとなることを教育実習生一同、心から願っています。

短い間でしたが今までありがとうございました。そしてあと残り2日間、よろしくお願ひします。

実習生の皆さんは、毎日遅くまで教材研究を行い、指導を受けながら研究授業に臨んでいました。それぞれが考えた自分なりの工夫も取り入れながらの研究授業でした。おつかれさまでした。直接指導したり、HR等で受け入れ、指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。